

# 奈良県の地震

## 【奈良県の地震活動図】

震央分布図と断面図

## 【奈良県地震概況】

## 【地震一口メモ】

火山噴火への備えについて

「奈良県の地震」は、奈良地方気象台における地震調査の一環として県内の地震活動状況を的確に把握し、きめ細かい防災対策に資するため1989年1月より月1回発行しています。「奈良県の地震」は、上記の項目で構成し、適宜地震解説資料や用語解説等を掲載します。

※本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。

また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、米国大学間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成しています。

※震度データは、気象庁の震度計の観測データに併せて地方公共団体、及び国立研究開発法人防災科学技術研究所から提供されたものを掲載しています。

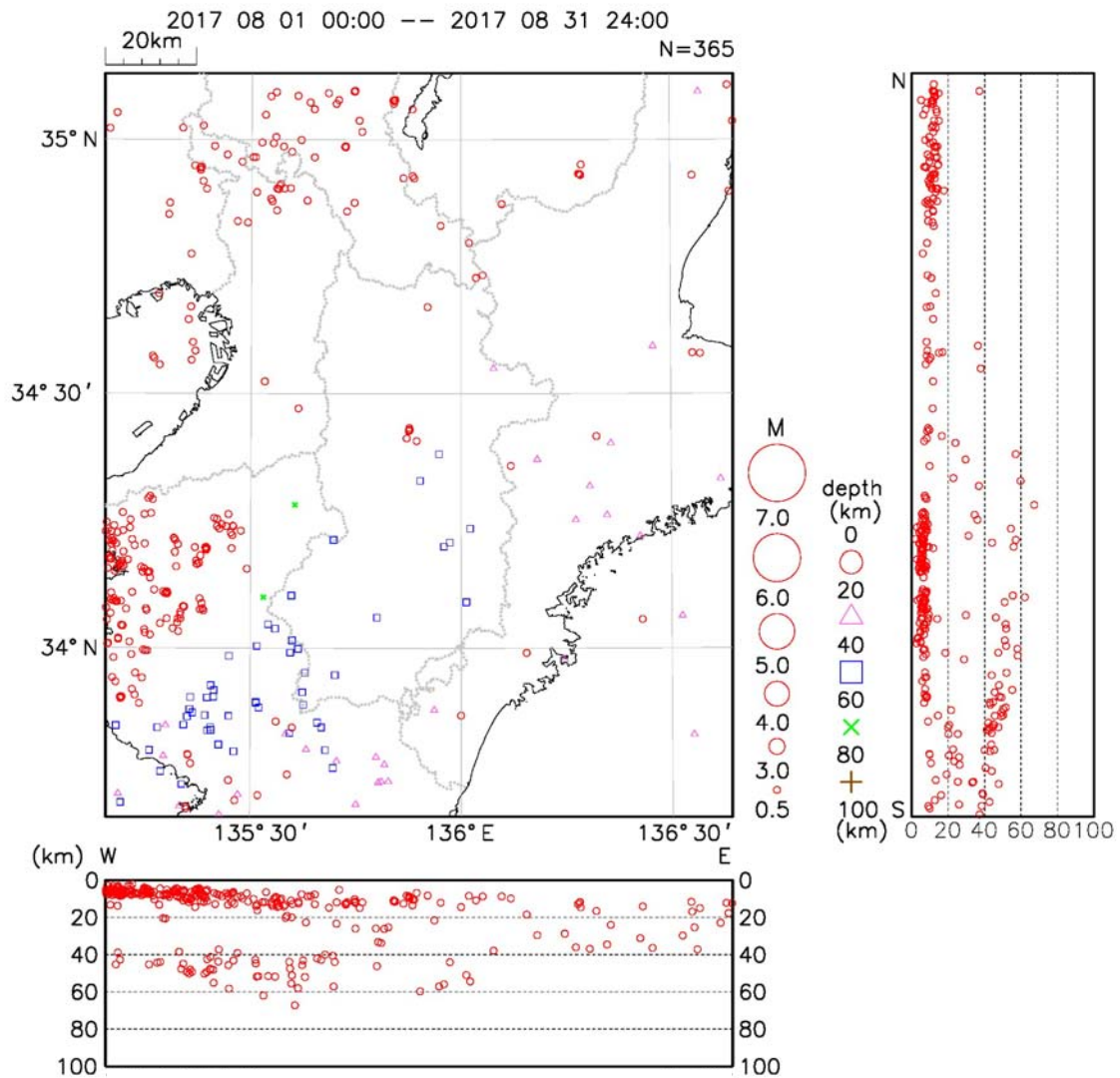
※この資料の震源要素及び震度データは、再調査されたあと修正されることがあります。

奈良地方気象台  
2017年8月

## 【奈良県の地震活動図】

### 震央分布図と断面図

地図範囲内に分布している震央の南北方向の断面図(右上)と、東西方向の断面図(左下)で、地震の垂直分布を表しています。これにより、マグニチュード(M)の大きさと深さによる地震発生状況が把握しやすくなります。



## 【奈良県地震概況】

奈良県内で8月に震度1以上を観測した地震はありませんでした。

## 【地震一口メモ】

～火山噴火への備えについて～

近畿地方には活火山が無く、日常において火山災害にはあまり関心がないかもしれませんが、活火山は日本百名山の内約三分の一を占め、風光明媚であることから、行楽シーズンには登山者で賑わいます。また、観光地化が進み火口周辺に気軽に近づくことができる火山もあります。その反面、御嶽山噴火（2014年9月27日）のように甚大な被害が発生する場合があります。今回は、この噴火災害から3年が経過し、再度の注意喚起の意味も含め、主に火山への登山時の情報入手方法などを紹介します。

気象庁では、火山災害軽減のため、全国111の活火山を対象として噴火警報・予報を発表しています。この中で常時観測している50の火山（図参照）については、噴火の発生事実を迅速にお知らせする「噴火速報」を発表します。「噴火速報」は、テレビやラジオ、携帯端末等により事業者が提供するサービス（メールやアプリ）で受信することができます。気象庁のホームページではこれらの事業者のURLの紹介や「火山登山者向けの情報提供ページ」としてポータルサイトを設けていますので、これらサービスを事前に受けることができるようにするとともに、火山の活動状況の確認をお願いします。

### ■火山登山時に確認していただきたいホームページ

[噴火速報の説明ページ（噴火速報の発表を知るには）：気象庁]

[http://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/kaisetsu/funkasokuho/funkasokuho\\_toha.html](http://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/kaisetsu/funkasokuho/funkasokuho_toha.html)

[火山登山者向けの情報提供ページ：気象庁]

[http://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/activity\\_info/map\\_0.html](http://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/activity_info/map_0.html)

[火山への登山のそなえ：内閣府]

[http://www.bousai.go.jp/kazan/kazan\\_sonae/index.html](http://www.bousai.go.jp/kazan/kazan_sonae/index.html)

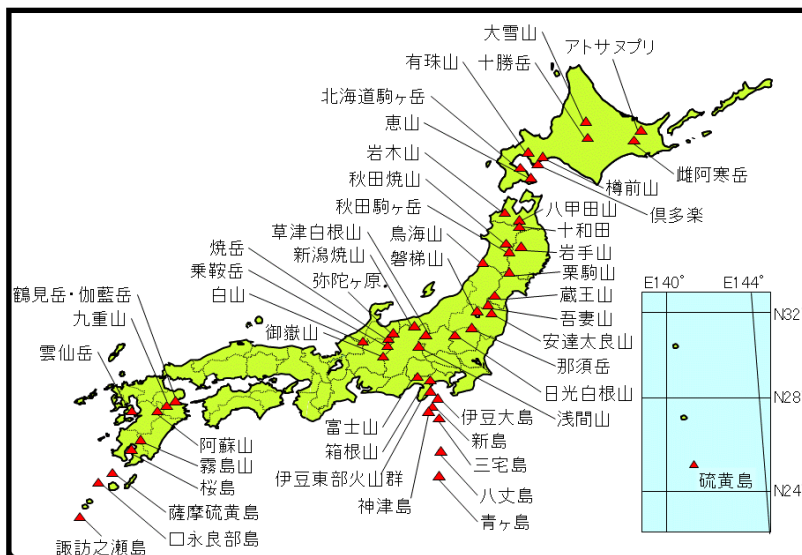


図 噴火速報を発表する火山

「火山防災のために監視・観測体制の充実等が必要な火山」として火山噴火予知連絡会によって選定された50火山